

SDGsとタバコ規制

東京薬科大学生命科学部 教授、日本禁煙学会 理事・薬剤師委員会委員長

高橋勇二

最近、マスコミに「SDGs (エスディジェズ: Sustainable Development Goals)」という言葉が頻繁に出てくるようになった。「持続可能な開発目標」とも呼ばれている。これらの開発目標は禁煙とどのように関係しているのだろうか。SDGsは、国連が2015年9月に宣言した持続可能な開発のための2030アジェンダ(2030アジェンダ)で17の目標としてその内容が具体的に示されている¹⁾。タバコの消費を減らしタバコ害から健康を守ることを国際協調の下に目指す「タバコ規制枠組条約」は、SDGsの一部に位置付けられている。SDGsの“目標3”は「あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を推進する」で、その目標の具体的なターゲット3Aとして、「すべての国々において、タバコの規制に関する世界保健機関枠組条約の実施を適宜強化する」が設定されている。「持続可能な開発は、将来の世代がそのニーズを充足する能力を損なわずに、現世代のニーズを充足する開発」と定義されている。現世代が生活を豊かにするために資源を使い果たし、将来の世代が資源を使用する機会を奪ってはいけぬ。また、環境の悪化のような負の遺産を引き渡してもいけない。そのような範囲で、私たちの生活を豊かにしなければならないということであろう。2016年から2030年まで15年間の国際社会の行動計画となるSDGsは、経済成長、社会的包摂、環境保護という3つの主要素からなり、それらの要素を調和させることが不可欠である。持続可能な開発目標(2030アジェンダ)は、地球規模の環境問題解決に取り組むリオ宣言(1992年)を具体化する行動計画として設定されたアジェンダ21、そして、地球環境の持続可能性確保に加え、貧困や飢餓、教育、健康福祉、ジェンダー平等を加えた国連ミレニアム宣言(2000年)のミレニアム開発目標の成果を踏まえて、2015年9月に設定に至っている。地球規模の環境

問題解決から発しているSDGs(持続可能な開発目標)は、受動喫煙問題を環境問題ととらえて解決を図るための理論的な根拠をわたしたちに提供しているのではなかろうか。

著者は、薬学系の大学に籍を置き20年近く「地球環境論」という授業を担当し、その一部として、喫煙の有害性と環境問題との関わりを学生と共に考えている。我が国では、1950年代に急速に工業化が進み公害が大きな問題となった。現在でも、工業化が急加速する国々で、大気汚染や水質汚濁による公害により、多くの人々が死亡している。Lancet²⁾によると2015年に環境汚染により約900万人が死亡し、死亡原因の6分の1を占めていると報告している。大気汚染により650万人が、その中でもPM2.5が原因で420万人ががんや循環器系疾患で死亡したとしている。その被害者の大部分は、経済的に弱い立場の人である。タバコによって年間世界の約600万人が死亡しており、その主要因はタバコ煙のPM2.5そのものとPM2.5に付着する発がん物質である。喫煙率を減らし、大気環境保全を図れば世界の約4分の1の死亡を減らすことができ、天寿を全うする人の割合が一段と増すことが予想される。タバコ病も地球温暖化も、世界の人々の健康を守り豊かな世界を次世代に残すために、世界規模で取り組まなければならない課題である。喫煙や受動喫煙による若死は、人的資源の消失を意味し、その経済的な損失は甚大で社会の発展を阻害する経済問題でもある。社会的なあらゆる立場の人々を巻き込み、健康問題であると同時に環境問題、そして、経済問題でもあるタバコ規制に取り組むべきだろう。

薬剤師は、医師や看護師とともに医療を支える重要な役割を担っており、その活躍の場も多様である。医療提供機関である薬局は、ショッピングセンターや街角など、市民生活と密着したさまざま

まな場所に設置されているなど、他の医療提供機関とは異なる幅広い禁煙機会提供が可能である。学校薬剤師として地域コミュニティーの中心となり得る小中学校での防煙教育に取り組む薬剤師も多い。2016年11月に発足した薬剤師委員会は、薬剤師の特性を生かし多くの医療関係者の力をお借りし、タバコ問題に健康と環境の両面からアプローチし、タバコ問題の解決に貢献したい。

参考資料

- 1) 国際連合広報センター：2030アジェンダ . http://www.unic.or.jp/activities/economic_social_development/sustainable_development/2030agenda/ (閲覧日：2017年10月20日) .
- 2) Landrigan PJ, Fuller R, Acosta NJR, et al; The Lancet Commission on pollution and health. *Lancet*. 2017; doi: 10.1016/S0140-6736 (17) 32345-0. (Epub ahead of print) [http://dx.doi.org/10.1016/S0140-6736 \(17\) 32345-0](http://dx.doi.org/10.1016/S0140-6736 (17) 32345-0) (閲覧日：2017年10月20日) .